

市政懇談会とは…



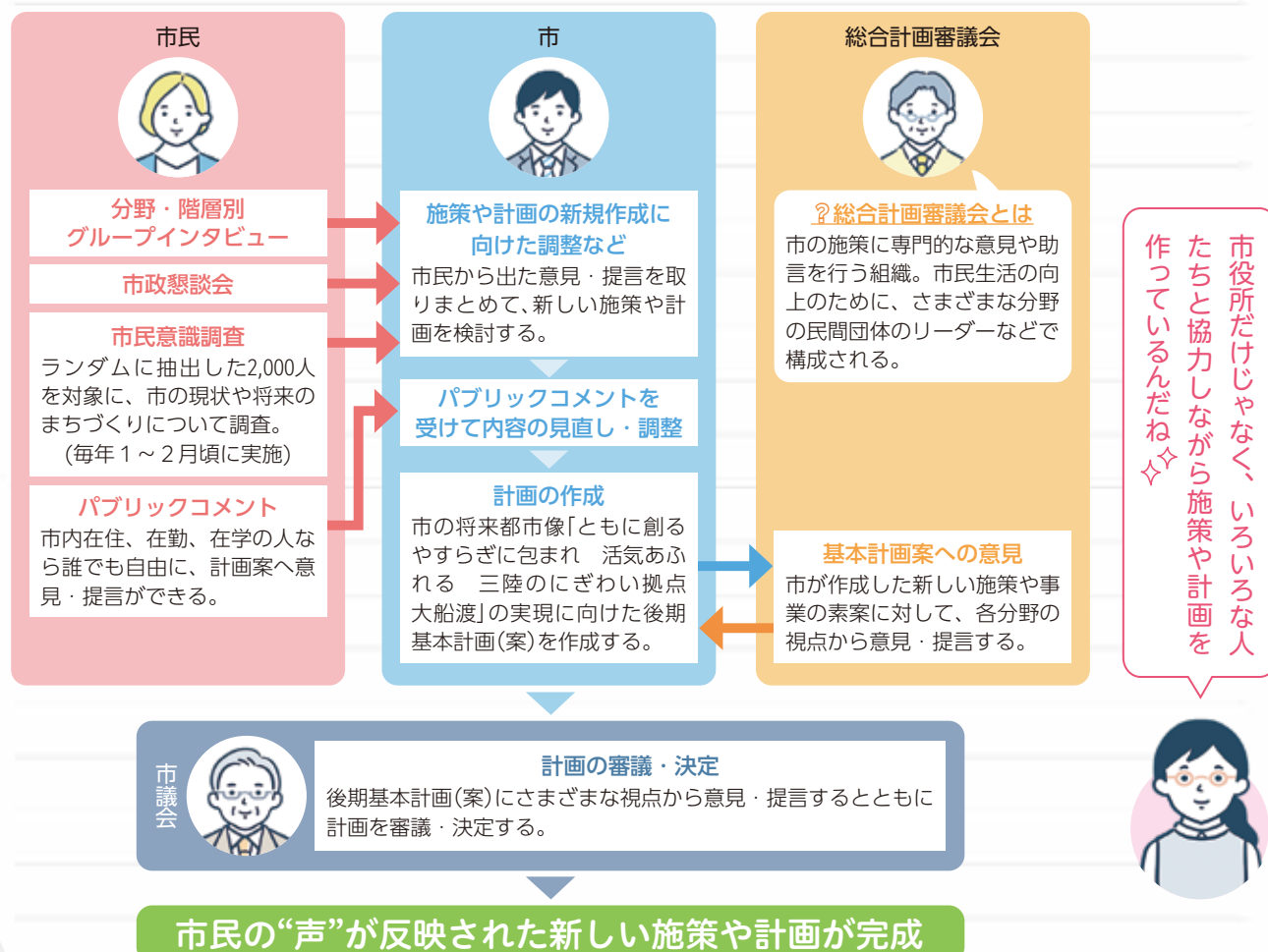
◎市民と市役所が一緒に考え、より良いまちづくりを進めていくための対話の場です。

市民と市長が直接対話を行う場で、市政や、新しく策定される計画について意見交換するために市政懇談会を開催しています。懇談会では、市民の皆さんが市の計画に対して感じている課題や要望を伝えたり、市政の取り組みについて理解を深めたりすることができます。参加者は自由に質問や意見ができ、施策へのフィードバックが得られる貴重な機会です。市は、市民の意見を反映させるための参考として、今後の施策に生かすことを目指しています。

市では、このほかにも、高校生や高齢者、子育て関係者などの7つの分野・階層を対象にグループインタビューを実施し、さまざまな観点から皆さんの“声”を集めました。

皆さんの“声”が市政に反映されるまで

市民の皆さんからの意見・提言はどのように施策や計画に反映されるのでしょうか？現在、策定を進めている「大船渡市総合計画2021後期基本計画」を例に見ていきましょう。



どう生かされる？ わたしたちの“声”



市では、令和2年度に策定した「大船渡市総合計画2021前期基本計画」の計画期間が令和7年度に終了することから「大船渡市総合計画2021後期基本計画」の策定を進めています。この策定にあたり、市民と市長の対話で出された市民のニーズやまちづくりへの意見・提言を計画に反映させるため、11月19日までに市内10地区で「新たなまちづくりに向けた市政懇談会」を開催し、各地区でたくさんの方の“声”が寄せられました。

しかし、市民の皆さんの中には市政懇談会に参加できなかった人や、参加した人でも「懇談会で出た意見はどうやって市政に生かされるの？」と疑問に感じている人も、少なくないと思います。

そこで今月の特集では、市政懇談会と、そこで寄せられた市民の声がどのように市政に生かされるかなどについて詳しく取り上げます。

▼問い合わせ先
デジタル戦略課広報係 ☎内線212